



エアロプレーン No.5：(二宮忠八モデル)



【材料】

- 1.発泡スチロールトレ-2~3枚
- 2.カッターナイフ
- 3.下に引く台(板など)
- 4.定規
- 5.セロハンテープ
- 6.ダブルクリップ
- 7.型紙

工作をつくる前に…

発泡スチレンシート (PSP) で楽しく工作をつくる前に必ずこちらをお読み下さい。

大人のいっしょにつくろう！



カッターなどの刃物を使う作品があります。
その場合は、子供だけで作らず、必ず大人の人と一緒に作るようにしてください。

工作レシピ

1. トレーを切る。



発泡スチロールのトレーのたいらな部分をカッターナイフで切り取ります。ただし、つばさの一部にトレーの角を使います。

2. 型紙をトレーにはり付ける。



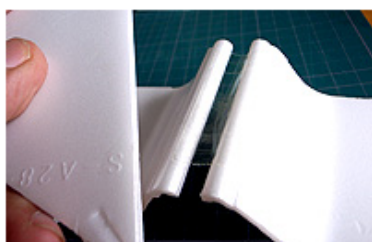
型紙をトレーにセロハンテープではり付け、部品を切り出していきます。

3. 切り出した部品



画像のように全ての部品を切り出します。主翼を切り出す部分に特に注意して下さい（型紙を参照して下さい）。

4. 上部主翼と本体をセロハンテープで張り合わせる。



写真を参考に、翼と本体を張り合わせます。

5.下部主翼と本体をセロハンテープで張り合わせます。



下部主翼を張り合わせて、翼の位置を固定します。

6.尾翼とおもりをつけて、さあ完成！



主翼をドライヤー等で加熱して変形させれば、よりリアルな二宮忠八モデルもつくれます！
挑戦するときは火傷をしないよう充分注意してね！（写真は見本です。このモデルの型紙はありません）

二宮忠八(にのみや ちゅうはち)って？

二宮忠八とは、明治時代に活躍した航空機の研究者です。
ライト兄弟が初飛行に成功する10年以上前に、カラス型飛行器模型での初飛行に成功していました。
その後、1893年に有人飛行を前提とした設計の玉虫型飛行器模型を作成。
その後有人飛行機の作成に挑みましたが、戦争中であったため断念せざるをえませんでした。

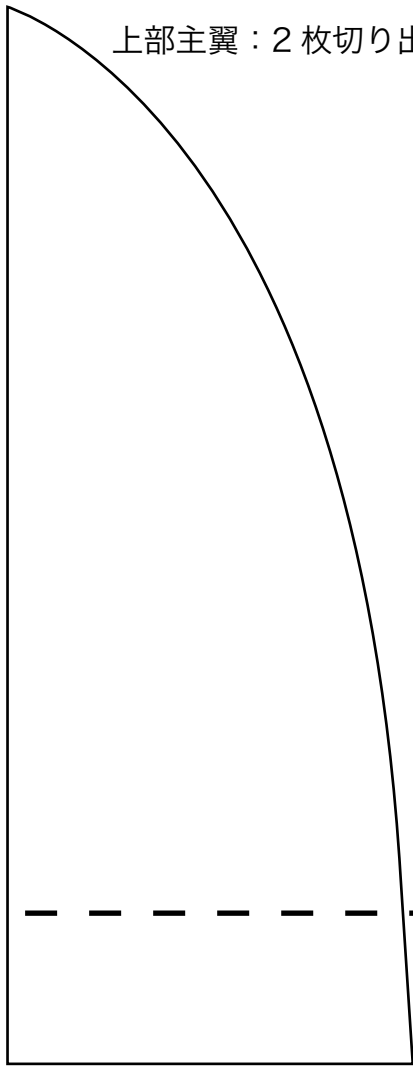
このエアロプレーン二宮忠八モデルは、玉虫型飛行器(たまむしがたひこうき)をモデルにしています。

エアプレーン 二宮忠八モデル

下部主翼：2枚切り出します



上部主翼：2枚切り出します



この部分にトレイの角がくるようにします。

